

かぜぐみ

10がわ かせぐみ クラスだよ



たいようぐみ

◎ ごっこ遊び

先日の運動会には ご参加いただきありがとうございました。運動会が近づくにつれ、お家の人に見てもらおうを楽しむ様子があり、初めての運動会ということで、子どもたちの中ではイメージにくた部分もあると思いますが、それぞれ期待を膨らませていました。絵本「二人のおつかい」のごっこ遊びを繰り返して楽しみ、運動会ごっこでも、なやまして遊ぶ中で、イメージが友だちと一緒に参加することができていました。当日は、いつもと違う雰囲気戸惑い、不安を感じていた姿もありましたが、公園に集まってくる友だちの姿を見ると笑顔で名前を呼んだり、お家の方を見つけたりすると嬉しそうに姿も見られました。当日を迎えるまでに運動会ごっこはもちろん、春から夏までの色々な運動遊びや外遊び、リズムなどを通して身体を動かすことを楽しんできました。沢山の人の前でリズムや競技が出来たこと、頑張っている姿をお家の方に見ってもらえたこと、友だちと一緒に参加できたことは、きっと子どもたち一人ひとりの自信や、またさらなる意欲へとつながっていくことと思います。運動会の後「二人のおつかい」の役を変えて楽しんだり、「大きなかぶ」のお話のごっこ遊びなどしたりして遊んでいます。運動会の経験も基にして、なやまして遊ぶことの楽しさを感じ、今の時期にしかできない歳児ならではの空想を広げて、友だちとおはなしの世界を共有できればと思います。

◎ 園外保育

久しぶりの園外保育です。お守りを持ってきたことを嬉しそうに友だち同士で話しています。お守りの「出発進行」のかけ声に「えいえいおー」とみんな声を出して、出発です。到着し、約束を確認してから遊具に向かって走り出します。すべり台やブランコなど、しゃもじをしながら遊びました。太い木の切り株に上り、ジャンプをしながら木の穴を見つけたりと園外ならではの遊びを楽しんでいました。「もうお守り食べる」と早く食べてくれない様子です。途中、ふようたんぽぽ組も遊びに来て、たいよう組がリレーを楽しむ姿も見られました。「かせせんもやってみる」と言う「せーの」で子どもたちリレーが初めてだったので1列に並び走り回り、次の順番の友だちにタッチしてついでに走り回り、次の順番の友だちにタッチしてついでに走り回り、最後の友だちがゴールした瞬間、みんなが喜びました。最後は走る姿も、今は走る姿も目一杯楽しんでいました。青空の下で友だちと食べるお守りは一段とおいしかったと思います。来月の園外保育も楽しみたいです。

日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みは晩秋の訪れを感じます。肌寒い日が増えているので、体調管理には十分気を付け、風邪や感染症の予防に努めていきたいと思っています。11月もよろしくお預けします。

円町保育園
2022.10.31

くらぐみ

10月は運動会に向けて、鹿垣公園でごっこ遊びを中心に活動してきました。子どもたちの中には、「楽しみだね」という子どもがいる反面、ちょっと見られるのが嫌だな、自由に遊びたいと思う子どもも中にはいました。そこで一人一人にシールを渡し、運動会までの日数を数え、一日ごとにシールを貼っていくことにしました。あと、運動会まで何日と一緒数えられるようになってくると、それまで嫌だと言っていた子どもからも「あと何日やな」と楽しみにしている様子に変化してきました。子どもたちの発達に合わせて、今まで活動の中で色々なことをしてきました。その中で子どもたちと決めた競技内容もありました。そこに宝探しをイメージから、パンプス、くぐる、ジャンプや渡るなどを楽しみました。そして友だちと息を合わせてタイミングよく通るといった4歳児らしい姿を見ることが出来、子どもたちも友だちと一緒に通ることをとても楽しんでいました。

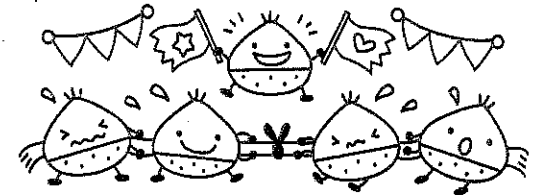
競技の最後で、箱に紐がついていて宝箱が出てくるということは、実は子どもたちには言っておらず、本番まで秘密にしておきました。宝物は子どもたちと作り、普段から大事にしてきましたが、本番でどうやって出てくるかは子どもたちも知らなかったのです。運動会当日まで秘密ということで保育者も不安がありましたが、いち早く紐を見つけてみんなで引っ張り、おうちの人に見せに行くことが出来ました。日頃の活動の中とはまた違った、少し緊張し、真剣な表情もたくさん見られました。

～ 初めてのリレー ～

子どもたちと遊びの中で何度も繰り返して、楽しんできたリレー。ルールが分かるようになってきた分、負けると悔しいし、勝ったら喜びます。その中で子どもたちは様々な気持ちを育みながら、頑張ってきました。リレー遊びの中で、普段から勝ち負けにこだわるのではなく、次にもっと頑張ること、どうやったら早く走れるか？と次に向かえられるように声かけをしてきました。しかし、子どもたちの中には、やっぱり負けてしまった...と涙を流し、落ちこんでしまう子どもも中にはいて、そこからやる気がなくなってしまうこともありました。何回か繰り返している中で、同じチームの中で、リレーが始まる時に「ちからをあわせてえいえいおー」と子どもから自然と手を合わせている姿も見られるようになりました。一生懸命走っている友だちを応援し、みんなで頑張っている姿を感じられたと思います。運動会が終わり、その後活動の中で絵を描きました。皆の絵を見ていると、リレーのことを描いている子どもがほとんどで、それだけ子どもたちの中で印象に残ったのだと思います。運動会で積み重ねてきた経験を次のクリスマスの行事にもいかして、楽しんでいきたいですね。

運動会の日

お泊まり保育が終わってから本格的に取り組んできた運動会に向けての取り組み。年長は楽しいことはもちろんですが、あきらめずにやろうとするかや、自分なりの目標を持って頑張る力をつけること、又、みんなと心を一つにして協力し、達成する面白さを味わうこととして進めてきました。その中で色々な心の葛藤が一人ひとりにあり、それを乗り越えたという手応えを感じ、当日を迎えました。はじめのことばや走りなわとびはいつもと違い緊張した様子の子も多かったが、他クラスの競技を見たり、手伝ったりしているうちに緊張もほぐれてきたようです。竹馬は坂道を登ることにチャレンジしたり、テキー乗り、名人乗り、木葉乗り...と前日まで磨いてきた技を披露する表情が輝いていました。竹登りは3m程ある高さの竹を「できる」と自信を持って力強く登る姿が印象的でした。そして気持ちも上っていた最後のリレー。今までど、どの子どもも一番素敵な表情で勢いよく走り抜け、迫力がありました。子どもたちの気持ちと今までの積み重ねがよく表われていたと思います。今年はじめのことばを言ったり、競技のアナウンスをしたり、他クラスの競技や片付けを手伝うことを通して「自分たちの運動会」として子どもたちと一緒に作ってきました。はじめのことばはどんなことばが良かったか、競技の手伝いで年下の子どもたちがどうしたらやりやすいか、リレーでは、友だちはどんな気持ちで走っているかとたくさんクラスで話し合いを重ね、自分だけでなく周りにも目を向けてこれたと思います。一つひとつの競技で、それに向かう子どもたちのまなざしや姿勢に年長らしい逞しさを感じた。保育園生活最後の運動会でした。子どもたちの心の揺れに耳を傾け、温かく見守って頂き、ありがとうございました。



スナックエンドウとラディッシュを育てます！

先日デジオハウスで子どもたちと冬の野菜、何があるんやろ?!と一緒に選んで育てることになりました。また毎日の水やりが始まります。成長や収穫の時の楽しみを待っています。